

気仙沼市民におけるSNSを活用した 防災意識の向上について

5617A班

I 序論

目的

気仙沼市民の防災意識 **UP**↑

理由

東日本大震災の記憶の風化を防ぐ
少しでも災害の被害を減らす

活動

若者がよく使うSNSを活用し防災情報発信

背景

震災から10年が経ち記憶の風化が進んでいる

IV まとめ

気高の生徒



防災意識が高いため
→SNSでの発信はしない

気高の生徒



非常用持ち出し袋は大切だと理解しているが
準備してる人の割合が低い
→**大切だと理解している**のでSNSでの
発信はしない

II 方法

Classiでアンケートを取る。(1)

内容

- ・災害経験の有無
- ・家族で避難場所を決めているか
- ・非常用持ち出し袋の準備
- ・津波による二次災害を知っているか
- ・指定避難場所について



非常用持ち出し袋の準備をしている人の割合が少ないためそこに焦点を当てて再度アンケートを取った。

気仙沼高校の生徒10人に非常用持ち出し袋は必要か質問をした。



Classiでアンケートを取る前に現状を理解するため。

結果

必要だと思う人 5人
必要でないと思う人 5人



現状が半々だったため全校も半々だと予想

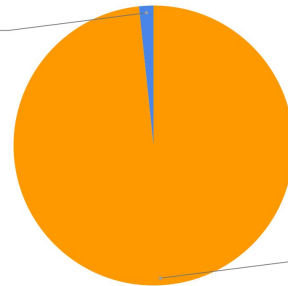
Classiでアンケートを取る。(2)

III 結果

回答数 120

設問1 災害時に非常用持ち出し袋は必要だと思いますか？

いいえ
1.7%



はい
98.3%

設問2 設問1ではいと答えた理由は何ですか？

- ・無いよりはあった方が良い
- ・避難先で役に立つ
- ・避難がスムーズになる
- ・準備が整っていると安心する
- ・緊急時は準備する時間が無いと思うから

設問3 設問1でいいえと答えた人に質問避難所生活で他に必要だと思うのは何ですか？

- ・毛布
- ・医療器具

設問4 避難所生活で困ることはなんでしょうか？

- ・プライバシーの確保
- ・衛生面の管理
- ・寒さ対策
- ・コロナ対策